



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

2025 年 5 月

A-25-10

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記検査項目につきまして、検査の内容を変更させていただきます。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 変更日 2025年5月31日（土） ご依頼分より

◆ 變更內容

2024・25 年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	旧	備考
未掲載	20780	M2BPGi	項目名称	M2BPGi 定量	M2BPGi	測定試薬 変更の為
			基準値・単位	0.84 未満 AU/mL	判定：(－) カットオフインデックス：1.00 未満	
			報告範囲 (報告形式)	0.10 未満～ 20.00 以上	判定：(－)、(1+)、(2+) カットオフインデックス： 0.10 未満～20 以上	
			報告桁数	小数第 2 位	判定：なし カットオフインデックス：小数第 2 位	

M2BPGi (Mac-2 結合タンパク糖鎖修飾異性体 : Mac-2-binding protein glycosylation isomer) は肝線維化マーカーの一種で、肝臓の線維化ステージ上昇の程度に伴い有意に高値となります。

本検査は、慢性肝炎や肝硬変の診断・治療において、肝臓の線維化ステージの評価、治療方針の指標およびモニタリングに用いられます。さらに、肝細胞癌の予後予測においても有用とされています。

旧試薬はカットオフインデックス (C.O.I.) による半定量検査ですが、このたび、同一試薬製造販売元より M2BPGi 濃度を定量的に測定する試薬が発売されたため、本検査の試薬を変更いたします。

※ 測定委託先：株式会社 BML

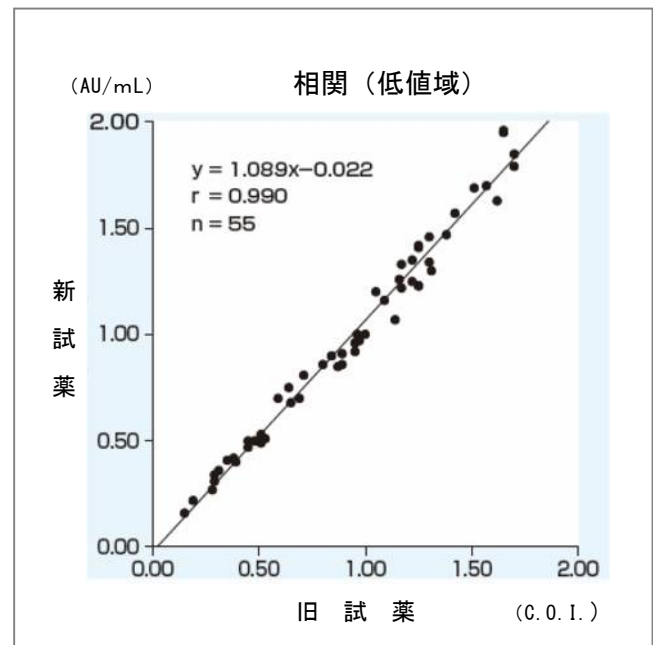
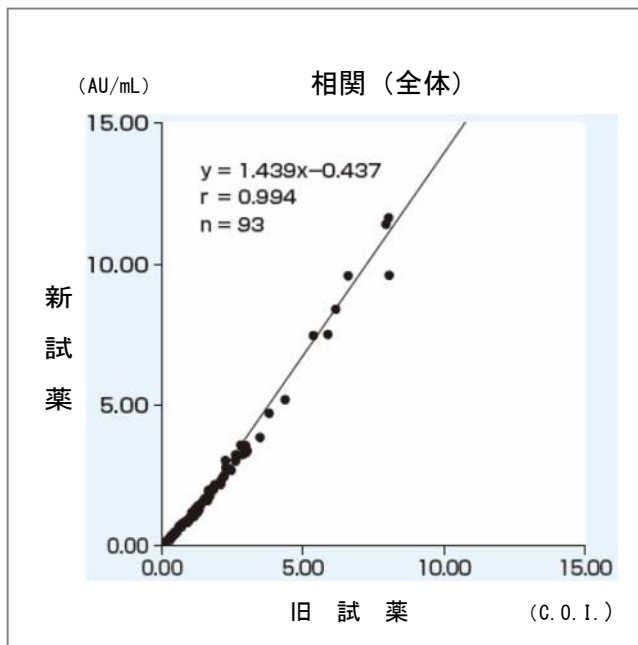
※ なお、上記以外の検査要項に変更はございません。受託要項および新旧相関図は裏面をご参照ください。

●●● M2BPGi 定量(Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体:Mac-2-binding protein glycosylation isomer)●●●

◆ 受託要項

項目コード	検査項目	検体量(mL)	容器	保存	検査方法	基準値・単位	所要日数	実施料判断料	測定
20780	M2BPGi 定量	血清 0.5	01	冷蔵	CLEIA	0.84 未満 AU/mL	3～5	194 生 I	B

◆ 新旧の相関



BML 検討資料より

◆ 参考文献

Uojima H. et al.: J Gastroenterol 58, 1252-1260,2023.